

事務事業評価シート

H28(標準事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	健康福祉部
	04076-1	特定健康診査事業	室名	長寿健康づくり室
	基本施策の大綱	03:健康で自然の恵み豊かな環境の創造	財	会計 一般会計
	基本施策	01:健康づくりの推進	務	款 衛生費
	施策の方向	02:健康づくり支援体制の充実	科	項 保健衛生費
戦略プロジェクト		目	目 保健衛生総務費	

② 目的・概要	対象	亀山市国民健康保険被保険者
	目的	高齢者の医療の確保に関する法律に基づき実施する特定健康診査を受診し、必要に応じて特定保健指導を利用することにより、メタボリックシンドロームの該当者・予備軍の方の生活習慣病予防や重篤化予防を図る。
概要	保険年金室からの執行委任を受け、国民健康保険被保険者(40～74歳)の対象者に内蔵脂肪型肥満に着目した特定健康診査を実施する。特定健康診査結果により、保健指導を要すると判定された方に対し、その危険度に応じて生活習慣等の改善を促す特定保健指導を実施する。	

			27年度	28年度	
③ 指標	①	名称	特定健康診査受診者数	計画値	
		補足		実績値	2,926
	単位			人	人
②	名称	特定保健指導利用者数	計画値		
		補足	特定保健指導の初回面接利用者数	実績値	59
	単位			人	人
③	名称		計画値		
		補足		実績値	
	単位				

年度計画				年度実績				
④ 事業の計画・実績					<特定健康診査> ・個別健診:7～11月、集団健診:7～11月(16日間) ・未受診者への電話勧奨及び受診勧奨ハガキ送付:8月(保険年金室実施) <特定保健指導> ・未利用者対策 利用勧奨のための案内文送付、電話勧奨、特別講演会(2回)の実施 未利用者への訪問による勧奨を実施。 ・特定保健指導利用率 29.9%			
	事業費		計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	2,479	
		事業費		42,145	35,710	一般職員人件費 ②	2,343	平均給与額×③
		国庫支出金				所要人員 ③	0.32	
		県支出金				臨時職員人件費 ④	136	
		地方債				受益者負担額 ⑤		
		その他		24,927	3,008	受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
	一般財源		17,218	32,702				
	再掲	翌年度への繰越額						
		前年度からの繰越額						
	総人件費		①	2,479				
	総コスト		⑥	38,189				

【事業の成果】	特定健診においては健康づくり応援隊等の各種教室時の啓発に加え、各種団体や地域を活用した受診勧奨のアプローチも行い、さらに電話勧奨を行う等、健診受診の勧奨を積極的に行った。また、特定保健指導においても前年度に引続き未利用者対策を行い、今年度は未利用者への訪問による勧奨も実施し、アプローチを重ね、利用勧奨に努め、特定保健指導の利用率の向上に繋がった。	総合判定 B まづまづ進んだ
---------	--	-----------------------------

⑤ 事業の評価	【反省点・課題】 前年度に比較し、特定健診受診率は横ばいであった。(H26:37.1% H27:37.0%)未受診者対策として電話勧奨も行い、集団健診をハガキでの申込みに変更したことで申込者数の増加は見られたが、キャンセルも多く、予想外に受診に繋がらなかった。アプローチの時期や集団健診の申込みなど、受診率向上に向けての検討が必要である。また、特定保健指導においては訪問勧奨を行い、利用率は向上したが、未利用者勧奨の内容については、より多くの対象者が利用に繋がるようなアプローチ方法や内容の検討が必要である。
------------	---

【改善の方向性】	保険年金室との連携を図り、市民へのわかりやすい広報周知・今後も健診のPR活動を地域団体等にも積極的に行うほか、集団健診での申込み方法等の啓発を工夫する等、受診率の向上に努める。また、特定保健指導においても、訪問勧奨の他、利用に繋がる手法を取り入れ、利用率の向上を図っていく。
----------	---

事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 長寿健康づくり室長 小森 達也
--------------	---------	--------------------------